

令和5年度

清瀬市平和祈念展等実行委員会

事業報告書

清瀬市平和祈念展等実行委員会



## 1 事業の概要

昭和 57（1982）年 9 月の清瀬市議会で「非核清瀬市宣言」が議決され、今年で 41 年目となりました。清瀬市では、昭和 61（1986）年度から実施してきた平和祈念展を平成 18（2006）年度より企画の段階から市民の参加を得ることにより、市民と市の協働による新たな平和祈念展とするため、市民公募委員で組織する清瀬市平和祈念展等実行委員会が設置され、企画が進められました。

令和 5（2023）年度の実行委員会では、これまでに開催した『平和祈念フェスタ in 清瀬』の企画等を参考に、実行委員会を開催し、コロナ禍においても『平和祈念フェスタ in 清瀬』を開催できるよう企画しました。また、今年度はピース・エンジェルズ事業が実施され 4 年振りに平和祈念フェスタでの報告会を開催できました。3 月には、東京大空襲関連の写真パネルや核兵器禁止条約関連などの展示会を市役所 1 階とクリアビル 4 階（クリアギャラリー）の 2 か所で開催し、アミューホールでは文化事業として公演会を開催しました。公演会では清瀬ゴスペルによる合唱とロコ企画による朗読劇『猫は生きている』を披露していただきました。また、会場にはピース・エンジェルズが作成したピース・メッセージを展示しました。

昨年度から引き続き不安定な社会情勢でしたが、清瀬市平和祈念展等実行委員会では講演会や展示会などの事業を通じ来場者のみなさんへ戦争の悲惨さ、平和の大切さ、人命の尊さを伝え、世界の恒久平和を次世代へ引き継ぐための活動を行いました。

『平和祈念フェスタ in 清瀬』の開催は、実行委員だけでなく、平和祈念フェスタでご出演いただいたみなさん、展示会に資料をお貸しいただいたみなさん、各会場に参加いただいた来場者のみなさんの平和希求への想いに支えられたものであることを報告します。

### 非核清瀬市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。

我々は、世界で唯一の被爆国民として、被爆の恐ろしさ、被爆者の苦しみを、声を大にして全世界の人々に訴え、再び「広島」・「長崎」のあの惨禍を繰り返させてはならない。

我々は、非核三原則（造らず、持たず、持ち込ませず）が完全に守られることを願い、すべての核保有国に対し、核兵器の廃絶と軍縮を求め、いかなる国の、いかなる核兵器も、わが清瀬市内に配備・貯蔵することはもとより、配備訓練、空中輸送、核部隊の通過も許さない。

我々は、核攻撃の目標となるおそれのある施設の撤去に努め、いかなる理由があろうとも、新たに設けることを認めず、疑わしき施設の実態把握と公表に努めることを宣言する。

昭和 57 年 9 月 29 日

清瀬市議会

### THE NON-NUCLEAR DECLARATION OF KIYOSE CITY

Eternal world peace is a desire common to all mankind.

As the only nation who has been atom -bombed ,we must testify to the terror of the atomic bomb attack and the suffering of atomic bomb victims to the people all over the world in a loud voice, and we must not allow the terrible disasters in 'Hiroshima' and 'Nagasaki' to be repeated.

We wish for the complete observance of the three non-nuclear principles (not to manufacture, possess, or introduce nuclear weapons) , demand the abolition of nuclear weapons and the disarmament of all nuclear powers, and we will never allow the deployment, training or air transport of any nuclear weapons of any country, or passage of any nuclear unit, let alone their deployment and storage in Kiyose City.

We declare that we will endeavor to remove the facilities likely to be target of nuclear attack .And we will not allow such facilities to be built for any reason. Furthermore, we will investigate and make public the actual condition of the suspicious facilities.

September 29, 1982

Kiyose City Council

## 2 清瀬市平和祈念展等実行委員会の開催

第1回実行委員会	令和5年4月13日
第2回実行委員会	令和5年5月18日
第3回実行委員会	令和5年6月15日
第4回実行委員会	令和5年7月20日
第5回実行委員会	令和5年9月21日
第6回実行委員会	令和5年10月19日
第7回実行委員会	令和5年11月16日
第8回実行委員会	令和5年12月21日
第9回実行委員会	令和6年1月18日
第10回実行委員会	令和6年2月15日
第11回実行委員会	令和6年4月18日

## 3 令和5年度の活動

### (1) 平和祈念フェスタ in 清瀬 (8月)

#### ア 展示会について

##### (ア) 開催日等

令和5年8月8日(火)から8月20日(日)まで  
クレア4階クレアギャラリー及び市役所市民交流スペース

##### (イ) 内容

- ①パネル「ヒロシマ・ナガサキ 原爆と人間」
- ②パネル「清瀬と戦争」
- ③平和をテーマとした国際風刺漫画
- ④その他

#### イ 講演会について

##### (ア) 開催日等

令和5年8月19日(土) 午後1時30分開場 午後2時開会  
アミューホール

##### (イ) 内容

- ①ピース・エンジェルズによる広島派遣報告会  
映像を用いた広島派遣報告
- ②ピース・エンジェルズと卒業生との対談  
今年度ピース・エンジェルズとして広島に派遣された児童生徒とピース・エンジェルズ卒業生との対談

③講演

講師：日本原水爆被害者団体協議会 事務局次長 児玉三智子

タイトル：『戦争も核兵器もない未来を求めて～きのご雲の下の体験を次世代へつなぐ～』

(2) 平和祈念フェスタ in 清瀬 (3月)

ア 展示会

(ア) 開催日等

令和6年3月4日(月)から17日(日)まで  
クリアギャラリー及び市役所市民交流スペース

(イ) 内容

- ①有原氏の展示物「核兵器禁止条約が×にしたこと」
- ②東京大空襲パネル
- ③大和田通信パネル
- ④市議会「核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書」
- ⑤清瀬と戦争」パネル
- ⑥その他

イ 公演会

(ア) 開催日等

令和6年3月9日(土) 午後1時開場 午後1時30分開会  
アミューホール

(イ) 内容

- ①「清瀬ゴスペル」による合唱

曲目

Amazing Grace

Because of Who You Are

He Reigns Forever

Time to Say Goodbye

翼をください

Why We Sing

You Raise Me Up

Joyful Joyful

- ②「ココ企画」による朗読劇・・・「猫は生きている」

※ココ企画…滝沢ココ氏が主体となり、いろんな劇団の方が集まって活動する

際のグループ名

③会場展示

ピース・メッセージ

(4) 戦争体験者の記録

清瀬市在住の戦争体験者の方からお話をきき、語り部としてご協力いただいた。

会 場：けやきホール

語り部：縄田美奈子（市内在住）

聞き手：上村菜々沙委員、清瀬第四中学校生徒

(5) 冊子『清瀬と戦争』の改訂

冊子に掲載している記事や写真等の見直しについて委員会で検討した。文章の確認を実行委員会で行い、市内在住の写真家（ツジ氏）にご協力いただき現地写真を撮影し差し替えた。完成した冊子を2000部発行した。完成した冊子は3月の平和祈念フェスタで配布した。

(6) 『清瀬の戦時遺跡マップ』の改訂

冊子『清瀬と戦争』の改訂に伴い、マップについても改訂を実施した。文章の修正や写真の差し替えを実施し、2000部発行した。冊子と併せて3月の平和祈念フェスタで配布した。

(6) 予算

予算額 250,000 円

執行額 249,944 円

残額 56 円

(7) その他

平和祈念フェスタ in 清瀬で大学生委員が司会等の役割を担い、参加者に若い世代の活躍を周知することができた。